

慎み深さ（その3）： 慎み深さについての物 2

5.0

明:

じらいなどの慎み深さの特 と、それを自ら追求することから生じる上品な行 との を示す、 言者の 言行 からの3つの物 。

目: [事崇 行 とその 踐スラ ム的モラルと](#)

より: ウンム サルマ ン

日 19 Sep 2011

集日 19 Sep 2011

言者ムハンマドとカアバの再建

言者ムハンマド（彼の上に慈悲と祝福あれ）の慎み深さは、彼の性格の中で最も 著なものでした。幼いときから、イスラ ム以前のアラビアの 放された社会の中でも、彼の 羞 心は特 するべきものでした。その一つの例として、カアバ神殿から 宝が盗まれたときに、盗人が室内に入れないようにと、カアバ神殿に屋根をつけて再建 した のエピソードがあります。言者ムハンマドはまだ若かった に、その再建に参加しました。彼は彼の叔父であるアッバ スとともに石を ぶために出かけていきました。彼の伯父は、彼に 腰 きを首に き重い石の い部分から身を守るように言いました。

彼がその 命な助言に おうとしたときに、彼は目眩を え倒れてしまいました。彼の は空で泳ぎ、彼の背中が地面についたときに、彼の腰 きが、 部は していたものの、はだけてしまいました。そのあとすぐに、体を起こし、「腰 きを! 腰 きを! 」と叫んだと言われています。

彼は急いで、腰 きをしっかりと き付けました。それ以降、彼の家族以外で、彼の腰部を目にした人は一人もいません。

この物 から 言者モゼが、公の で体を露出することに し、どれだけ じらいを感じたかが分かります。事 、彼の体を覆うものが手元がないという焦りが彼の体を公に露出させたのですが、それは神の意志によるもので、神は中 者から 言者モゼを守ったのです。もちろん、彼は神の意思に背く露出には耐えられず、服を石からとりあげました。その石により彼の体は露呈され、彼の中 者によって作り上げられた を否定することができたのです。

言者ムハンマドと庭の井

どこまで てよいか、というのはもちろん人によって なります。女性の体をどこまで夫に せてよいかは、どこまで兄弟に せてよいか、そしてまったくの他人にどこまで せてよいかということとも なりますし、逆も然りです。また、同性同士でどこまで せてよいか、ということも同 です。父 、兄弟、息子がどこまで てよいかというのも、他人の体のどこまで てよいかということとは なりますし、母 が、娘や 妹のどこまで てよいかは、他人の女性の体をどこまで てよいか、ということとも なります。

ある日、 言者はある庭 に行き、教友アブ ム サ アル＝アシュアリ にその を らせることにしました。庭 には井 があり、 言者はその中に足を投げ出した状 で座りました。しばらくするとアブ バクルがやって来て、その庭に入りたいと いました。アブ ム サ は 言者に、彼の 父が一 に庭で休みたいと っている、と えました。言者は「彼に、 の庭 が用意されているという知らせを届け、中に入れなさい。」と言いました。

ア イシャの父 であるアブ バクルは庭に入り、 言者の に座りました。言者は彼の膝より少し上まで腰 きをまくしあげていました。アブ バクルは 言者のように、足を井 の中に投げ出しました。そしてすぐに、ウマル ブン アル＝ハッタ ブがやってきました。彼も庭 に入りたいと いました。アブ ム サ が 言者の 可を得るために、 言者にもう一人の 父がねてきたことを えました。言者は「彼に の庭 が待っているという知らせを え、中に入れなさい。」と言いました。

ハフサの父 であるウマルは 言者の に座り、同じように井 の中に足を投げ出しました。

者とも 明なことに、言者の に座ったので、言者はひざにあった腰 きを下げる必要なしに礼 を守ることができたのです。

そのあとに、彼の娘ルカイヤと 婚した 理の息子であるウスマ ン ブン アル=アッフア ン が庭 に入りたいたと いました。アブ ム サ が 可を得に来たときに、言者はこう言いました。「いくつかの のあとに の庭 が待っていると彼に え、中に入れなさい。」彼が中に入ったときには、井 の三面が いておらず、言者の向かい、つまりは 言者の足が、他の二人よりもよく える 所しか いていませんでした。ウスマ ンがためらったので、言者は彼の腰 きを膝下までおろし、ウスマ ンを向かい に座らせました。

イスラ ムでは、体の部分で公に せてはいけない部分があります。その部分が 部に近づくと、露出されるのが しく禁止されています。三人とも 言者が膝を せるほど近い家族 にあったにも わらず、彼の太ももが えそうになったときには、彼はそれを そうとしたのでした。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/399>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。